



私はララ・イルセと申しますボリビアから参ります。日本に住んでもうすぐ16年になります、日本に来たばかりのころはこんなに永く暮らせるというイメージはまったくありませんでした。最初は、大変でした。日本語は来る前に4年間勉強しましたが、日本で使われている日本語は全然違いました！

文部省（現在・文部科学省）の奨学金をいただいて東京大学大学院の建築材料研で修士課程に入りました。大学では、敬語や学生言葉がまったく分かりませんでした。日本の料理は、みんな魚の味がしました。食べ物には不思議な物が多い！文化の問題でもいろいろありました。普通の生活のなかでも分からないことがたくさんありました。たとえば、ラッシュアワーで混んだ電車に乗る辛さ。歩行者道路は、ボリヴィアと日本では右と左が反対でとまどいました。「カルチャーショック」は本当に大きかったです。しかし、時間がかかりましたが、だんだん日本のことが大好きになりました。

今私の仕事はスペイン語の先生で、いろいろな所で教えています、そしてボリビアン文化やお料理教室やって、日本人の為、様々なボランティア活動で努めています。



(アンデスの風景)

3月15日(土)午後2～5時  
ララ・イルセさん ボリビア  
光が丘区民センター集会室2